

日本宝くじ協会の助成を受け作成した、令和2年度「宝くじドリームジャンボ絵本」は、8月1日以降、全国1,400カ所の保育所及び認定こども園に贈呈され、各施設で活用されております。

子どもたちの喜ぶ笑顔が目浮かぶような報告を、各施設から頂いておりますので、ご紹介いたします。



### ● 令和2年度 「あーちゃんのマフラー」

★通常の絵本だと見せてあげられる人数に限界があります。このジャンボ絵本は対象人数も多く、集会等で使用するのに適したサイズです。またお話の内容も良く、ほのぼのととてもやさしい気持ちになれます。気忙しい毎日の生活の中で、ほっとするひと時、育みたい大切な心づくりにとても役立つ一冊です。

★繰り返しの軽快な歌入りだったので、読み進めていくうちに手拍子をしたり、うたったりして喜んでいました。こんな大きな絵本を子どもたちに触れさせてあげることがなかなかさせてあげられないので、良い体験ができたと思います。

★絵本の内容は子どもたちにわかりやすく、CDでは歌いやすいメロディが使われていて大変良かったです。また、小冊子内の発達障害児への支援について書かれていることは勉強になることばかりで、新人教育の資料として活用させていただきます。

★話の内容がとても温かく、0歳児～5歳児まで皆が大喜びでした。小型絵本の後半に書いてある「発達障害児への気づきと支援について」は、とても勉強になりました。「日本宝くじ協会」がこのような活動をされていることをはじめて知りました。

★お話のCDが付いていたので、子どもの表情を見ながらページをめくることができた。とても大きいので、後ろに座っている子もよく見えたと感じた。2歳児にとって少し長いかなと感じたが、途中で歌が入ったりするので最後まで集中して見ることができた。

★大型絵本は高価で、寄贈していただき、とても有り難く感謝しております。動物たちがマフラーをいろいろと試す場面等、友達と一緒に絵本の世界に入り、楽しんでいる様子が伝わってきました。今後また機会を見て、子どもたちに読み聞かせていきたいと思っております。



★大型絵本というだけで子どもたちは喜びますが、効果音や音楽が流れることに普段の読み聞かせ以上に楽しんで見ているなと感じました。そして、じっくり見て聞いている姿が見られました。内容も自分たちの普段の遊びの様子に置き換えて話し合うこともできました。

★話の内容がとても心温まるお話で、子どもの心に響いたのではないかと思います。何度も同じ歌が流れることで、子どもたちは自然と音楽にのる様子があり、とても良い効果だと思います。終わった後「楽しかった」「仲良くなって良かった」と、子どもたちは感想を言っていました。

★絵本が大きかったので、子どもたち（重心の寝たきりの子どもたち）が寝ながらも見られた。子どものやれる、できる、分かるを確認できた。なんだろうな～の音楽リズムは心地よく、職員が口ずさむと、子どもたちはニッコリ笑顔を返してくれます。視力のない子どもたちも楽しめました。聴力の弱い子どもたちも興味深そうに参加しています。もっといろいろなジャンボ絵本を読み聞かせていきたいと思いました。

☆被災（台風19号で施設水没）のため、様々な保育道具が使用できなくなった中での大型絵本を頂けて、とても嬉しく思っています。絵本の内容も、普段の生活の中で、子どもたちがやりそうなことを、動物という形に変えて表現してあるため、とても理解しやすく反応もとても良かったです。

